

かみす

Pick up

- ▶ 鹿島アントラーズ
ホームタウンデイズ「神栖の日」
- ▶ PayBで市税を納付できます

特集

図書館

まちの魅力再発見

誌上
バック
ヤード
ツアー

AR

広報かみすが
動き出す



【COCOAR2】



アプリをダウンロードし
表紙にスマートフォンを
かざしてください。
詳細は12ページ

「どこの図書館？」という声が聞こえてきそうなこの場所、実は中央図書館の閉架書庫です。図書館の裏側にあり、膨大な数の本や貴重な資料を管理しています。利用者が目にする機会の少ないバックヤードを探検取材。さらに「誰がどうやって本を選ぶの？」など素朴な疑問に答えてもらいました。



まちの魅力再発見

図書館

誌上バックヤードツアー

皆さんは最近いつ図書館へ行きましたか？ 図書館は本を借りるだけの場所ではなく、赤ちゃんから高齢者まで誰もが楽しく便利に利用できる施設です。今回は、なかなか知る機会のない司書の仕事やバックヤードを含め、中央図書館をすみずみまで探検しました。



職業体験中の神栖高校生(左から大川さん、佐藤さん、酒井さん)

閲覧室から探検スタート!

神栖市には中央図書館、うずも図書館と4つの公民館図書室があり、全館の蔵書は約50万冊、視聴覚資料(CDやDVD)は約3万5千点のほりります。そのうち、中央図書館の蔵書は約30万冊、視聴覚資料は約2万9千点。この膨大な資料を管理しているのが、図書館の専門職である司書です。司書の神崎英一さんと中平幸江さんに閲覧室を案内してもらいながら、あれこれ質問しました。

Q 誰がどうやって本を選ぶの?

「本選びは司書の大切な仕事の一



つで、会議で決定します。特に、神栖市に関する本や、調べ物に役立つ本の収集には力を入れています。毎年約2万点も新しい資料が加わりま

Q 特徴のあるジャンルは?

「旅行ガイドの『るるぶ』『まっぶる』『地球の歩き方』は最新刊がすべて揃い、さらに、茨城県、千葉県、埼玉県、栃木県、群馬県、福島県、宮城県から取り寄せた観光ガイドもあります。また大活字本が豊富に揃うほか、クラシック音楽のCDは全国屈指の充実度です」

Q 借りたい本が図書館にないときは?

「ぜひリクエストしてください。一人が借りたいと思った本は、ほかにも借りたい人があるもの。リクエストで皆さんの声を図書館に届けてください」

Q 中央図書館が遠くてなかなか来られない人は?

「うずも図書館と4つの公民館図書室のどこからでも中央図書館の



司書の神崎さん



司書の中平さん

本・CD・DVDを借りることが出来ます。ぜひ最寄りのところで予約をしてくださいね」

赤ちゃんを抱いて図書館へ

図書館といえば、いつも静まり返って

いるイメージ。でも訪れた日は、赤ちゃんを抱いたママたちが集まって、ほのぼのとした雰囲気。これは、毎週木曜日の午前中に設けられている「赤ちゃんタイム」です。この時間は、赤ちゃんが泣いても幼児がおしゃべりしても気にしなくて大丈夫。ボランティアさんに付き添ってもらい、ママやパパがゆっくり本を選ぶこともできます。

訪れていたママたちの声を聞きました。

「静かな図書館に泣き声を響かせたら…とドキドキしたけれど、赤ちゃん連れが大勢集まっていたので安心して過ごすことができました。また来ます!」

「読み聞かせをしてもらえると、ほかのママたちと出会えるのもうれ



毎週木曜日の午前中は「赤ちゃんタイム」

しいですね。これからも、親子で触れ合いながら本を読む時間を大切にしたいと思います」

子どもの頃から本に親しむ工夫

赤ちゃんタイムおはなし会を卒業したら毎月第一金曜日の「らっちゃんタイムおはなし会」へ。その後もおはなし会と読み聞かせは続きます。また、本棚は絵本コーナー、児童書コーナー、ティーンズコーナーと、本に親しみながら成長できるよう構成されており、漫画の棚もあります。ここで司書の神崎さんにちょっと個人的な質問をしてみました。

Q 子どもの頃から本が好きで司書になったの?

「私の場合、読書感想文が苦手で



中2階の電動書架。本の壁が動く



CDやDVDは全館で約3万5千点にのぼる



本の修復作業



膨大な数の本を管理する閉架書庫(1階)

本は嫌いだったんです。でも、もし小学校低学年の頃に本を好きになっ
ていれば、その後の人生がより潤い
のあるものとなったかもしれません。
だからこそ、神栖市の子どもたちに
本と触れ合う機会を提供したいし、
それが私の役割だと思っています」

借りる&調べるサービス

さあ、次に向かったのはカウン
ターです。貸し出しや返却の手続き
や司書への相談など、多くの利用
者が訪れます。ここで素朴な疑問をぶ
つけてみました。

Q 誰が何を借りたか、返却遅れが
何回あったかなど、すべてのデー
タが残っているの？

「いいえ、過去の履歴は一切残っ
ていません。分かるのは、今借りて
いる本だけ。利用者のプライバシー
を守るのは図書館の義務です。利用
者への配慮から、新たにセルフ貸し
出し機も導入しました」

Q レファレンスサービスって何？

「知りたいことがあるとき、どの
本や図鑑を見ればいいのか案内する
サービスです。子どもが虫や石ころ
を持って来て、これが何か知りたい

というときもあれば、大人が昔の橋
を調べたいというときも。もしここ
で資料が見つからなければ、県立図
書館や国会図書館まで問い合わせ
て資料を探すこ
ともあります。
司書は調べ物
のお手伝いを
するプロなん
です」



いよいよバックヤードへ！

次に質問したのは、返却した本に
ついてです。

Q 借りた本に書き込みや破れが
あったらどうすればいいの？

「私たちも本の汚れや破損をチェッ
クしていますが、返却時に気付いた
ことを教えていただけると助かりま
す。実は、セロハンテープのノリは
劣化の原因に。自分で修理せず、そ
のままお持ちください」

そう言いながら、カウンターの奥
にある事務作業室へ案内してくれま
した。司書が専用の道具を使い、傷
んだ本を修理しています。タバコの
匂いがついてしまった本は、消臭し
てから本棚に戻すそうです。それら



小中学校の図書館への貸し出しも行なっている

の作業を見て、みんなが読む本だからいいねに扱わなければいけないと肝に命じました。

さらに奥へ進んで書庫に足を踏み入れました。奥行きのある本棚にぎっしりと本が並び、本の壁が何層にも連なったような空間。中2階は電動書架となっています。

Q 書庫に置く本はどう決めるの？

「1冊しかない地域・行政資料は書庫で大切に保管します。それ以外は、閲覧室に置いて約3年過ぎた本の中から、総合的に判断して徐々に書庫へ移していきます」

児童やティーンズの身近な存在に

再び事務作業室に戻り、そのほかはどういう仕事をしているのか聞きました。映画会や季節の催しなど数々のイベントの開催、『図書館通信』『ティーンズ通信』『学校図書館支援センターだより』の発行など、図書館を利用してもらうための働きかけをしているとのこと。市では「子ども読書活動」を推進しており、中央図書館でも小中高生へのサービスに力を入れています。

Q 学校図書館支援事業とは？

「小中学校に読み物用図書を配本したり、授業に役立つ調べ学習用図書のセットを貸し出したりしています。ほかにも、学校への団体貸し出しや学校図書館の図書整理などさまざまな支援をしています」

Q ティーンズ向けの取り組みは？

「エントランスホールの一角に展示ブースを設けました。昨年は作品展を行い、中学生の協力で作品の中から『ぬいぐるみ図書館員』を任命しました。活躍の様子を、ぜひホームページで見てくださいね」

トークライブ、音フェス、コミック蔵出しまつりなど、ティーンズ向けの企画が盛りだくさん。中高生の職場体験も受け入れています」

ちょうど職場体験に来ていた神栖高校2年生の5人に遭遇。感想を尋ねると、「まさかこんなにたくさん本が書庫に隠れていたなんて！」(大川菜摘さん)、「裏側でたくさんの人が図書館を支えているんですね」(牧口喜龍さん)、「仕事の難しさを実感しました」(酒井翔さん)、「思っていたより大変だけれど、楽しい仕事です」(猿田稜真さん)、「司書さんに感謝の気持ちが湧きました」(佐藤菜奈さん)など、感激の面持ちで話してくれました。



牧口さん(神栖高校)



猿田さん(神栖高校)

図書館へ行こう！

図書館を知れば知るほど、驚きと発見の連続。神栖市の図書館は非常に恵まれた環境にあり、すべての市民がその恩恵を受けられるよう多彩な図書館サービスがあることを実感しました。「私たちは皆さんの『知る権利』を守るために働いています。人と本を結び付けるのが司書の仕事。司書は、人が好きで、本が好きで、図書館が好きなんです」という中平さんの言葉に、司書の仕事への理解も深まりました。

図書館探検を終えて一番強く感じたのは、「もっと利用し尽くさないとまらない」ということ。さあ今年の夏休みは、図書館へ行こう！

イベントなど最新情報は市立図書館ホームページをチェック！

